

子どもたちの主体的な活動をつくり、確かな力を培う学習の展開

～豊かなかかわりと学びを大切にした体育学習～

1 研究主題について

本年度より、八頭郡小学校教育研究会の組織改編に伴って、体育・特別活動研究部として発足した。研究主題並びに副題は、昨年度のを継続することとした。「子どもたちの主体的な活動」とは、新学習指導要領で重視される「生涯にわたって運動に親しむための資質や能力の基礎の育成」をめざす小学校体育において、運動の楽しさや喜びを味わった経験が、次なる運動への欲求となった姿であるとする。また、「確かな力を培う」とは、小学校1年生から4年生の「各種の運動の基礎を培う時期」、5・6年生から中学校1・2年生にかけての「多くの領域の学習を経験する時期」を通じて、運動の系統化のもと、指導内容を明確にして、例示の習得をめざし、多様な運動経験、学びの経験、体力の向上が図られた姿としてとらえる。副題における「豊かなかかわりと学びを大切にした体育学習」とは、その運動の持つ固有の楽しみ方やおもしろさなどの特性に触れ、習得する喜び、共に仲間と学ぶ喜び、力いっぱい運動をする喜びを大切にした体育学習と考えた。八頭郡では、これまでに「技の特性に目を向けた、動きや基礎感覚の系統性」「子どもの主体的な活動としての教え合い、学び合いの場面の重視」「体育学習の日常化」などの研究に取り組んできた。この財産をベースとして、新たな研究実践に取り組んだ。

2 主な取り組み

4月25日(水)	第1回部会	事業計画・役員決定
5月7日(月)	第1回役員会	事業の検討・役員の役割分担
6月26日(火)	第2回役員会	県指定「少人数学級を活かした学びと指導の創造事業」に係る報告・事業の検討
7月25日(水)	第2回部会	県小体研の研究の方向性に係る周知と郡内の実践について
10月31日(水)	一斉研修	5年「目指せ！マットの達人」(器械運動) 授業者 八頭町立船岡小学校 黒坂 洋史 教諭 講師 鳥取県教育委員会事務局スポーツ健康教育課 指導主事 岡本 律子 先生
1月19日(土)	実技研修	氷ノ山でのスキー実技研修(～20日)
1月25日(金)	第3回役員会	本年度の取り組みのまとめ 来年度の研究の方向について

※上記以外に、各ブロックで器械運動領域における研究実践に取り組むとともに、県の夏季一泊研修、10月の全国学校体育研究大会北海道大会並びに中・四国小学校体育研究大会高知大会に積極的に参加し、研修を深めた。

3 まとめ

本年度は、体育・特別活動研究部と組織を改編するとともに、県指定の「少人数学級を活かした学びと指導の創造事業」を受け、体育科と特別活動の両方の研究に取り組んだ。

体育科に関わる取り組みでは、平成25・26年の中・四国小学校体育研究大会での「器械運動」分科会での発表に向けた研究及び実践を積み重ねた。特に、児童同士の関わらせ方やめあての持たせ方、単元構成の工夫などについて研究を深めることができた。また、県の夏季研修会並びに中・四国体育研究大会に多くの部員が参加をして、先進的な取り組みを視察し、今後の研究に生かすことができた。平成28年度には、県の研究大会が八頭郡で行われる。統合により学校数は減少したが、八頭郡小教研体育・特別活動研究部として、今後も組織的に研究実践を行っていきたい。